

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 10月 25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473500688		
法人名	有限会社トリオ		
事業所名	グループホームきららの里		
所在地	〒731-1526 広島県山県郡北広島町本地1931 (電話) 0826-72-7324		
自己評価作成日	平成30年9月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3473500688-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年10月16日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>1、日々の生活をしあわせ、ほがらか、生き生きと心穏やかに過ごしていただくために、入居者の皆さんと職員が一体となって毎日を笑顔で過ごせるホームを目指し、住まいの環境や介護の質の向上を目指して努力しています。</p> <p>2、小規模、少人数制で一人ひとりの個性を大切に、ご家族と連携し、家族的な雰囲気の中で毎日を過ごしていただくよう支援しています。</p> <p>3、訪問された皆さんから「施設の中がとても明るくなごやかで、アットホームを感じる」と評価を頂いています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>自然豊かな地区にある事業所であり、畑で野菜を収穫したり、敷地内にある栗をとって食事のメニューに加える等、季節を感じることができ、また、ウッドデッキ、庭園もあり、温かみのある環境の中で利用者が穏やかに過ごされている。介護は心が一番大切という考えのもと、職員同士が連携を図りながら少人数制という特性を活かすことで、利用者の身体状況、健康状態の把握もしやすくなり、個々の意向、ニーズに応じてきめ細やかな対応、ケアを行っている。午前中は体操、午後はお経をあげることを毎日行っており、月1回外出を計画し、地域のボランティアを招いた行事も定期的であり、変化に富み利用者が笑顔で生き生きと生活が送れるように支援をしている。定期的な内部研修の実施、外部研修の参加等サービスの質の向上への取り組みも積極的に行われている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念を基に毎年職員間で深く掘り下げ話し合い理念に副った目標を設定し達成できるよう月2回のミーティングで確認、共有し努力しています。訪問者、職員がみえやすい所に掲示し、朝礼時に職員が唱和し、一日のスタートを切っており、業務に行かせるよう心がけています。	理念、年間目標は毎朝唱和するため、職員は周知している。目標は職員が振り返りを行い、それを元実践に即した次年度の目標を立てている。1日2回職員の引継ぎを行い、その際に入居者の状態を聞き、個々に応じた対応、ケアに結び付けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	保育所の発表会など地域の行事に参加し、子供110番の場所として提供し、小学校や保育園児に来ていただき交流を図っています。また周辺の草刈や町内美化運動、地域おこし協議会、行事にも参加し交流しています。地域の皆さんから季節の野菜を頂いております。	事業所で行う敬老会、クリスマス会などの行事と踊り、コーラスなどの地域のボランティアの参加がある。また、地域のお寺に行きお経を聞いたりすることもある。代表者は以前は自治会長を行った経験もあり、地域とのつながりも強く、事業所の運営に活かしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進委員に地域の民生委員、老人クラブ、地域役員の方をメンバーとし、認知症支援に関する資料の配布、地域包括センター、認知症医療疾患センターの職員を招き勉強会を行っています。また、町の開催する認知症サポーター養成講座の講師として派遣しています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、地域の高齢者をお世話される役員の方々で構成し、事業所の状況、利用者の状況などを報告します。また推進委員の方たちが参考となるテーマを選んで情報交換をします。提案、意見などを頂き業務に活かしています。	地域の民生委員、老人クラブ、地域包括支援センター、家族など出席し、利用者、事業所の状況報告を行ったり、事業所側から「高齢者を取りまく状況」などの話を実施したこともある。災害発生時の対応や身体拘束など議題に挙がり、内容、出た意見を日頃の業務に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事業所の現状を報告し、町の現状、方針などの情報交換を行っています。また、事業所で抱え込めないと判断した時は地域包括センター、介護保険課と相談し解決しています。	町の高齢福祉課や生活保護課、地域包括支援センターと密に連絡をとり、事業者や利用者の相談事案や情報交換を行っている。行政からの依頼により認知症サポーター講座の講師を行ったり、中学校の職場体験の受け入れを行っており、市町と協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>基本的には身体拘束をしない方針です。ひとりひとりの行動の特徴を職員皆で共有して見守り付き添い、拘束をしないケアをしています。</p>	<p>介護保険の改正に伴い、身体拘束マニュアルの見直しを行い、定期的な委員会の開催、内部研修の実施、外部研修の参加により、「身体拘束をしないケア」を職員が周知徹底している。今まで身体拘束を行った事例はなく、ケアの工夫で対応している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>利用者の尊厳と主体性を尊重し、職員一人ひとりが身体的・精神的被害を理解し、研修会、勉強会を開き、意識をもって虐待しないケアの実施に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修で得た情報を職員が共有するために勉強会を開き、必要に応じて話し合いの場を設けています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居に際しては、利用者、家族と面談し、ホームを見学して頂き、契約内容、重要事項説明書を理解納得していただき同意を得ています。退去時は行き先に応じて情報を取得し説明して不安の解消に努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>「きららだより」を毎月発行して個々の生活の様子を写真と手紙によりお知らせしています。常時利用者の状態について電話連絡し、家族さんの要望を聞きながら対応をしています。</p>	<p>家族には面会時や電話連絡の際に意見、要望を伺っており、内容は利用者に対してのものが主になっている。それに応じて個々の対応に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	2週間ごとにミーティングを行い、管理者も参加し職員の意見や提案を話し合い問題解決に努めています。管理者、職員が一体となって運営しています。	定期的なミーティングや日頃の業務の中でも職員から随時意見や提案を聞く機会を設けている。職員の意見をもとに手すりの設置を行ったり、行事計画を立てたり運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は職員個々との意思疎通に努めて、働きやすい職場作り、やりがいのある職場作りに努めています。管理者は職員の休日などを聞き要望に副った勤務体制を作成しています。施設の維持管理について修繕などは代表者が行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設長、管理者が研修の内容を吟味し、各職員が研修に参加できるよう計画しています。また、研修に参加した職員は報告会を開き職員と共有しています。施設内の勉強会も定期的実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域同業者と交流を深めるため、地域ケア会議、多職種連携研修会に出席し各事業所との意見交換をしています。また、虐待防止地域ネットワーク代表者会議にも参加しています。研修会、講習会などの情報を報告し勉強会を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個々の観察の中で、本人が困っていること、不安に思っていること等を聴き、今何が必要な支援かを見極め、確認しながら対応しています。必要な時はご家族と相談して解決しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族が困っておられること、不安に思っておられる内容をよく聴き、これまでのご苦勞を受け止め、今後の対応について家族とのコミュニケーションを蜜にとっています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用を開始するに当たり、ご本人の生活自立、要介護状況、疾病の有無、本人やご家族の希望により、併設しているデイサービス職員と共に本人や家族の相談内容を見極め、医療機関を含めた提案をしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>工作や手芸、ゲームなど自分で出来ることをしていただき、出来ない部分は職員が陰ながら支え、また職員も教えていただきながら、利用者に達成感を味わってもらい、共に喜べる環境づくりをしています。また、食材加工、おやつ作りなど職員と一緒にしています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者の様子をこまめに報告し、家族さんにも気軽に訪問していただいたり、電話で相談したりして共に支えあう雰囲気を作っています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人の思い出を大切にするため、馴染みの場所にドライブやスーパーで買い物に行き支援しています。お寺参りをしてお話を聞きに行きます。お年寄りのコーラスクラブの方が来所され合唱の交流をしています。</p>	<p>馴染みのスーパーでの買い物、お寺に行くことや病院受診時に知り合いの人と談笑することもある。家族による外出、外泊、墓参りなどもあり、馴染みの人や場への関係が継続できるよう支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	認知の程度の個人差はありますが、自然とお互いが助け合ったり、思いやったりする場面が見られます。ゲームやおやつ作りなど助け合いが行えるよう職員間で調整し、支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の施設へ移転された方には訪問してお話したり、家族さんには様子を聞いたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中で本人が興味を持っている事柄、行動に合わせ話題や作業の提供をしています。本人の希望を聞きながら対応しています。	会話の中で入居者と話をしながら、思いや意向を引き出し、日常生活の中で対応を行っている。また、外出や買い物、畑での野菜の収穫、食事の準備など、個々の利用者の意向や暮らし方に沿った取り組み、支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人の生活歴、生活環境の把握に努め、日々の記録や行動から生活リズムを崩さないようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々一人ひとりの係わりのなかで、今何をしたいか何を希望しているかを、声かけしながら見極め、本人の意思の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>2週間ごとにミーティングを行い、利用者一人ひとりのケアのありかたについて検討、見直しを行い、必要あるときは家族や関係者と相談し介護計画を作成しています。</p>	<p>介護計画作成者が中心となり、ミーティング時に個々の利用者に対してのケア、支援について話し、家族からも要望を伺い、介護計画の作成をしている。少人数の特性を活かし、利用者一人ひとりの状態把握、気づきも多く、現状に即した内容の介護計画になっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子を個別記録や気づきノート、送りノートに記入し、全職員に周知し話し合い、ケアに活かして介護計画に取り入れています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人の希望にできるだけ副うように、家族と相談しながら柔軟な支援に心がけています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>周辺の田植えや稲刈りの見学、野菜作りと収穫、ぶどうや柿、栗の秋の味覚、ベランダで池の鯉を見ながらのお茶会、本人の希望や意向を、必要に応じて相談しながら支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居されるまでの、かかりつけ医との関係を大切に、できるだけご家族との受診を行い、利用者の状態把握をしてもらっています。必要な方には往診をして頂くこともあります。</p>	<p>本人、家族の希望により、かかりつけ医を決めており、家族対応でお願いしているが、難しいようであれば、事業所で受診、付き添いを行っている。週1回訪問看護で看護師による健康管理を行っており、医療機関との連携も図りやすくなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>毎日バイタルチェック、健康観察を行い、体調の変化に注意、異常の早期発見に努め、訪問看護師、協力医療機関と報告、連絡、相談しながら支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には細かい情報を提供し、ご家族と相談の上、早期退院ができるよう医療機関と情報交換しながら対応をしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族の意向を聞き話し合いを進め、ホームでできること、できないことをご家族の理解を得、ご家族の意向を聞きながら、主治医の指導を受け、職員間でチームケアを行っています。</p>	<p>入居前に家族に事業所での看取り体制はとっていないことを説明し、了解を頂いている。重度化した場合も事業所で対応ができる限りは、本人、家族の意向に応じたケア、支援を行っている。入院などが必要な場合は医療機関等にスムーズに移行できるように連携を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>全ての職員が応急手当の訓練を行い急変、事故発生に対応できるようにしています。AEDを備え、消防署の指導による応急手当の訓練も定期的に行っています。職員への緊急連絡網も備えています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>日勤帯、夜勤帯と対応できるように、避難誘導や避難方法など訓練を行い職員全員が周知しています。また、地域と協定を結び緊急時の協力体制もできています。また、スプリンクラーや自動火災通報装置も備えています。</p>	<p>避難訓練を計画的に行っており、職員が避難方法を周知している。また、避難訓練には地域の住民の参加もあり、地域連携協定を結んでおり、火災等の災害、行方不明者が出た場合など、地域の方の応援体制がとれるようになっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者の気持ちに寄り添い、利用者に対する言葉使い、介助について職員間で注意しながら日々気をつけるよう努めています。プライバシーに配慮し、粘り強く話をし、納得してもらえるよう努めています。	人権に配慮しながらも、利用者の距離が遠くならないように、親しみを込めて言葉掛けやコミュニケーションをとっている。排泄の事など羞恥心に関わることは、大きな声で話さない等配慮している。個人情報の取り扱いも医療機関等とのやりとり以外は口外しないように職員間で徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者とのふれあいの時間をできるだけたくさん持ち、希望や行動を把握した上で、本人の思いを尊重し、納得し安心して暮らせるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自室やホールは自由に出入りして頂き昼寝、読書、TVを観るなど自分のペースで過ごして頂きます。一人ひとりの安全で安心のある生活ができるよう目配り気配りをしながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望によりホームでの出張散髪も行っています。ご本人の希望、好みを大切に身だしなみやおしゃれを自由にできるよう支援しています。行事の時、特別な時は一層気配りをしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理の下準備、配膳、片付けなど一人ひとりの力を活かせることを常に考えながら、職員と一緒にを行っています。	誰もが手伝えるホットケーキ、焼きそばなどを作ったり、野菜を切ったり、皮むき調理の下準備を行ったり、個々の利用者の希望、能力に応じて食事の準備をしている。また、弁当、おやつを持参し外出先で食べたり、お店に出掛けたり、日頃と違った環境で食事をとることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養バランスの低下が見られる方は栄養補助食品を摂取していただき、1日の食事、水分量を記録し、少ない方には摂取していただくようにしています。食事内容も体調に応じてメニューの変更、刻み食、ミキサー食の支援をしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔機能向上推進事業の指定を受け、ご利用者と職員が口腔ケアと口腔体操の指導を受け、毎食後声掛けし職員と一緒に清潔保持に努めています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>利用者の状態に応じてトイレの声かけを行い、排泄の失敗をなくし自立に向けた支援を行っています。排尿の見られない方にはポータブルトイレにて排泄を促すよう努めています。</p>	<p>排泄の記録をもとに利用者の排泄パターンを把握し、個々に応じて排泄への支援を行っている。自分でできる排泄動作は行っていただくよう声掛け、一部介助をしており、本人の能力、強みを活かした支援をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとり、水分摂取の確保や介護体操、朝の牛乳、果物、ヨーグルトなどで自然排便に心がけています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望された時、その時の状況を確認し入浴して頂いています。</p>	<p>週3回を基本に入浴しており、一人ずつ入っている。利用者が入浴を希望しない場合は、時間をおいて声掛けをしたり、工夫しながら入浴の支援を行っている。季節によっては、「ゆず湯」をするなど、入浴を楽しむことができるように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>自室で休まれる方、職員が見えるところで休みたい方など安心して過して頂くよう支援しています。定期巡室して、日々の天候や希望にあわせ室温、証明を調節しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>目的や作用をしっかり把握しておき、職員への周知を徹底しています。使用方法や副作用など医師の指示のもと十分理解して対応をしています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>笑顔でいられる時間を少しでも多く提供できるよう支援しています。1人ひとりに合った、楽しいと思える時間の支援をしています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望を聞いて、花見ドライブ、紅葉ドライブなど季節に応じて外出し、田園での散歩も行っています。一人ひとりその日の体調を見て声かけをし、屋外に出ただけできるよう心がけています。</p>	<p>月1回計画を立て、外出を行っており、買い物、動物園に行ったり、花見、紅葉を見に行くなど、利用者の意向を汲み取りながら実施している。家族の協力により、自宅等への外出、外泊もあり、楽しみが持てるように日常的な外出支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>金銭の管理は職員が行っており、必要なものは職員が購入しています。体調が良ければ職員が同行し確認の上、購入しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>我が家への不安、家族への寂しさなど訴え、思いをくみ取り、電話して頂いています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご利用者の馴染みの木造住宅で畳の間に床の間があり落ち着いた造りになっています。壁面やホールに行事や日常生活ぶりの写真を張り、季節ごとに入居者と共に作成した飾りをしています。テレビに過去の行事の画像を映し、喜んで頂いています。</p>	<p>事業所内は木を基調としたつくりで、共有空間にある六角テーブルは手作りで、高さも2種類あり、利用者に合わせて使用している。敷地内には庭園、池もあり昔ながらの風景を感じることができる。壁には利用者が作った貼り絵の作品や日頃の様子を写した写真が貼ってあり、明るい雰囲気環境である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブル椅子、畳の間、ソファなど思い思いの居場所を提供しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者のご家族が相談されて、使い慣れたものを配置されています。ご家族の写真や飾り、自分で作られた作品を飾り、思い思いに工夫されています。</p>	<p>自宅にある馴染みの物を持参したり、家族の写真や誕生日カードなど飾られている。居室はベッド、洗面台、エアコン、収納庫は備え付けで、利用者の状態によっては、手すりを取り付けたり、安全で快適な環境で過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部は全てバリアフリーで廊下、トイレには手すりを設け、自立した生活が送れるよう工夫しています。必要な方は居室に手すりを付けたり、畳を敷いています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームきららの里

作成日 平成30年11月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	48	嗜好品、楽しみ事、レクリエーション等がマンネリ化している。	バラエティーに富んだ日常生活の構築。	日常生活自立を促すため、一人ひとりのやりたいことを掘り下げ、気分転換を図る。	31年度1月から3月まで（準備含む）
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。